研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

Posterior Lumbar Subcutaneous Edema (PLSE) の臨床的意義に関する後方視的研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2019年1月1日から2025年7月31日までに昭和医科大学病院において腰椎後方除圧術または椎体間固定を施行した患者さんのうち、外傷・脊椎腫瘍・感染性椎体炎の患者さんを除いた患者さん。

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、Posterior Lumbar Subcutaneous Edema (PLSE) が脊椎術後の炎症反応遷延化や創部感染に関与するかを明らかにすることです。対象となる患者さんの診療録から、術前MRIにおけるPLSEの有無、術後感染の発生、CRP陰転化までの日数、および年齢、性別、BMI、ASA分類、術前Alb値、皮下脂肪厚などの背景因子を後方視的に調査します。これにより、PLSEが脊椎手術における新しい診療指標となりうるかを検討します。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2028年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録から以下の情報を取得します。年齢、性別、BMI、ASA分類、術前Alb値、皮下脂肪厚、術前MRIにおけるPLSEの有無、術後感染の有無、CRP陰転化までの日数。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究は昭和医科大学の単施設で実施するため、該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学病院 山村亮

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学

氏名：山村 亮

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号： 03-3784-8543